



布津中学校 学校だより

至誠を貫く ～一隅を照らす人づくり～

令和5年6月22日(木) No.3 文責:校長 梅津 禎司

◎ 令和5年度南島原市中学校総合体育大会開催!

6月11日(日)・12日(月)の両日、令和5年度南島原市中学校総合体育大会が開催されました。布津中は、バレー・バスケット・ソフトテニス・剣道の各競技に出場し、素晴らしい成績を収めました。今まで練習に練習を重ねてきた生徒たちは、十分に実力を発揮して2日間本当に頑張りました。結果は下記のとおり。

【バレーボール女子】 ①対有家中 1-2 敗 ②対西有家中 0-2 敗 予選敗退
【バスケットボール男子】 1回戦 対南有馬中 103-44 勝 2回戦 対加津佐中 57-69 敗
【バスケットボール女子】 1回戦 対西有家中 58-39 勝 2回戦 対深江中 47-63 敗
【ソフトテニス男子】 ①対南有馬中 0-3 敗 ②対北有馬中 3-0 勝 ③対有家中 3-0 勝
【ソフトテニス女子】 ①対西有家中 3-0 勝 ②対深江中 2-1 勝 決勝 対加津佐中 2-0 勝

以上より、団体戦の結果は、優勝 ソフトテニス女子、準優勝 バスケットボール女子、3位 バスケットボール男子 という結果でした。

また、個人戦では、ソフトテニス競技で、男子 3位 松尾・田中ペア、女子 優勝 泊・石橋ペア、3位 林田・松島ペア、剣道競技で、男子 2位 中村 という結果でした。

特筆すべきは、剣道競技の個人戦で、中村君がたった1人の部員であり、初めての中総体出場であったにもかかわらず、堂々の準優勝という快挙をあげました。

加えて、先日行われた市中学生空手道選手権大会(選考会)で、女子組手団体で2位、女子組手個人で池田さんが4位、女子形個人で松島さんが4位に入賞しました。また、男子組手団体は2位、男子組手個人は池田君が3位、男子形個人でも池田君が4位に入賞しました。

ソフトテニス女子(団体戦・個人戦)と剣道部(個人戦)、空手女子(組手団体・組手個人・形個人) <口之津中が卓球で県大会に出場するため、繰り上げとなりました>が、7月23日・24日に開催される県中総体に出場することが決定しました。

県大会への出場権を勝ち取った選手の皆さん、県大会での活躍を期待しています。

◎ 1学期末試験迫る!

6月26日(月)から28日(水)まで、1学期末試験が実施されます。1学期の評価を大きく左右する大切な試験です。19日(月)にテスト範囲が発表され、テストに向けた勉強計画を各自で作成しています。計画に沿ってしっかりと自主的な学習を進め、テスト対策をして良い成績が残せるよう各自努力してほしいと願っています。なお、テストに備えて、21日(水)から27日(火)まで部活動を中止しています。生徒各自の奮闘を期待しています。

勉強中です



◎ 「布津っ子の心を見つめる教育週間」が開催されます！

7月2日（日）～9日（日）の期間、「布津っ子の心を見つめる教育週間」を開催します。

本年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に分類されたこともあり、4年ぶりに制限なしでの開催を予定しています。保護者だけでなく、おじいちゃんやおばあちゃん方の来校も歓迎いたします。保護者の皆様方、地域の皆様方もぜひ布津中学校へ来ていただき、子どもたちが生き生きして活動する姿をご覧くださいければ幸いです。

期間中の主な行事は、下記のとおりです。

- | | | |
|-----------|--------|----------------------|
| ・ 7月3日（月） | 全校朝会 | 校長講話 |
| ・ 7月5日（水） | 15：00～ | 布津地区民生児童委員様と教職員との懇談会 |
| ・ 7月6日（木） | 1・2校時 | 特別支援学校との交流学习（1年生） |
| | 5校時 | 授業参観 道徳（命の授業） |
| | 15：30～ | 学年・学級PTA |

◎ 下記の事項に当てはまるようなことがいくつかありましたら、学校へご相談をお願いします。

☆ いじめられている子が家庭で出すSOS（例）

髪が毛が不自然に切られていたり、体に見慣れない傷跡がある どことなくおどおどしている 忘れ物が多くなる
ポケットが破れてたりボタンが取れてたりする 元気がなく表情もさえない 服装に普通ではないような汚れがある
朝の起床や登校が遅くなる 最近、服装がなんとなく乱れている 登校を嫌がる 何日も体の不調を訴えて、遅刻や早退をする 筆箱やかばんが壊れている 日曜・休日は機嫌がよい かばんや教科書に落書きが書かれている
部屋にとじこもりがちになり、ときどき部屋で泣いていたりする 買い与えた物を紛失したり、壊されたりしている
学用品や持ち物が頻繁になくなったりしている 家族と視線を合わせるのを避けているような姿を見せる 妹・弟をいじめられるようになる 親が話しかけてもぼーっとして他の事を考えていることが多くなる 急に金遣いが荒くなる
お金をねだることが多くなる 必要以上のお金を持っている 朝、トイレに入るとなかなか出てこなくなる 早く学校から帰ってきて外出しようとしめない ため息が多くなる 休みの日に親と外出したがらなくなる 朝、なかなか起きてこなくなる 学校の話・友達の話をしなくなる 友達が迎えに来たり、電話がかかったりするが、出たがらない 妙に暗くなったり、切れやすくなったり、何かのきっかけで感情の起伏が激しくなる 友達が家に遊びに来なくなる
体や顔にあざや傷がある 親が尋ねても納得のいく説明が得られない 友達からの呼び出しが増える 腕や足などを隠し、見られるのを嫌がる 今までと雰囲気の違い友達と付き合う様になる メールの内容を気にしすぎる 登校時に体の不調を訴え、学校へ行きたからなくなる 年賀状がまったくこない、もしくは、嫌がらせの年賀状がくる 大笑いすることがなくなる。または、顔が笑っていてもひきつる様になる 食欲がなくなる メールが来ても、親の前で見なくなる 不眠が続く 携帯が鳴っても親の前で取らなくなる 寝言を言ったりうなされたりすることが多く、寝汗でびしょりになることが多くなる 急に学習意欲がなくなる よく炭酸飲料を飲むようになる 家庭での学習のとき、ぼんやりと考え込むようになる 微熱・吐き気・腹痛・頭痛を訴えることが多く 成績が急に下がる etc.

★ いじめている子が家庭で出すサイン（例）

買ってやった覚えのない品物を多く持っている お金の使い方が荒くなる 学校からの帰りが遅く、言葉遣いや素行が悪くなる 友達への電話なのに、命令的な口調で話す 友達を呼び捨てにしたり、軽蔑した口調で話したりする

☆ いじめ防止に向けた家庭での取り組み

- ① 子どもと語り合う時間を大切に、日ごろから子どもが悩みを打ち明けやすい雰囲気づくりに努めましょう。
- ② 「仕返しがこわい」「親に心配をかけたくない」「大人は何もしてくれない」などと子どもは考えがちです。子どもをよく理解し、心の声を逃さないようにしましょう。
- ③ いじめの早期発見のために、子どもをよく観察し、その兆候にいち早く気づきましょう。
- ④ 「どうかな」と思ったら迷うことなく、学校に相談しましょう。
- ⑤ 家族の会話やふれあいの時間など日常生活を通して、思いやりの心や善悪の判断、正義感などが養われます。家族のコミュニケーションを大切にしましょう。

※ 教育週間期間中に、学校では、自他の「生命」の大切さや「いじめ」について、しっかりと考えさせます。ご家庭でもお子様と日頃の学校生活について語り合う時間をしっかりと取っていただきたいと思います。学校もご家庭でも、有意義な「布津っ子の心を見つめる教育週間」にしてほしいと願っています。